



かながわ水源の森林づくり

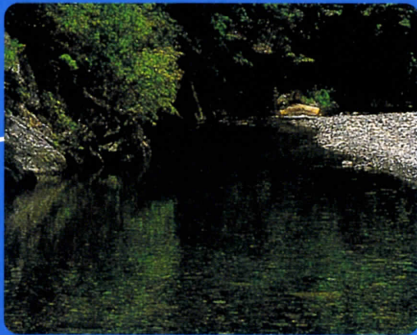
かながわ水源の森林づくりへのご協力・ご参加をお願いします。

神奈川県では、私たちの生活に欠かすことのできない大切な水を育むため、ダム上流域を中心とした水源地域の森林を守り育てる「かながわの水源の森林づくり」事業に取り組んでおります。

この事業を推進するため、ご寄附や森林づくりボランティア活動への参加を多くの皆さんにお願いしています。

詳しくは……

県環境農政部森林課 電話(045)210-4365(直通)



* 川の底は、たいへんすべりやすく、また、思わぬところに深みもあって、とても危険な場合があります。リバー・ウォッチングをするときは、必ずおとなといっしょに行くようにしましょう。記録し終わったら、動かした石をもとにもどしましょう。

リバー・ウォッチング

水生生物でわかる かながわの川



コウノマダラカゲロウの成虫

目次

表紙（写真 コウノマダラカゲロウの成虫）

のぞいて見よう川の中

上流・中流・下流で生物の種類がちがう 4

- 上流で多く見られる魚と底生動物 4
- 中流で多く見られる魚と底生動物 6
- 下流で多く見られる魚と底生動物 8
- 近くの川にはどんな魚がいるんだろう
かながわの魚の分布 10
- 近くの川にはどんな底生動物がいるんだろう
かながわの底生動物の分布 12
- かながわの川はきれいかな
底生動物からみた川の水質 14

さあ、川に行ってみよう

底生動物や藻類で川の水質を調べる 16

■底生動物のウォッチング

〔テクニック1〕採取場所と用具、採取方法と調べ方 18

■藻類のウォッチング

〔テクニック2〕採取場所と用具、採取方法と調べ方 20

■ウォッチングした生物で水質を調べてみよう

〔テクニック3〕フィールドノートの作り方と水質の見わけ方 21

■きれいな川と汚れた川では動物の種類がちがう

指標になる底生動物 22

■この表で底生動物の種類を見わけよう

（底生動物検索表） 28

■藻類も水の質で種類がちがう

指標になる藻類 30

■県民の水への関心がかながわの水質保全につながる 31

のぞいて見よう川の中

上流・中流・下流で生物の種類がちがう

○上流で多く見られる魚と底生動物

みなさんは、川の流れの中を見たことがありますか。底の石の下にかくれた、不思議な虫に気づいたことはないでしょうか。川には、魚や虫、そして顕微鏡でなければ見えない小さな藻類など、さまざまな生物がすんでいます。

イワナ(サケ科)

エルモンヒラタカゲロウ

ヤマメ(サケ科)

モンカワゲラ

オオマダラカゲロウ

アブラハヤ(コイ科)

ニジマス(サケ科)

カジカ(カジカ科)

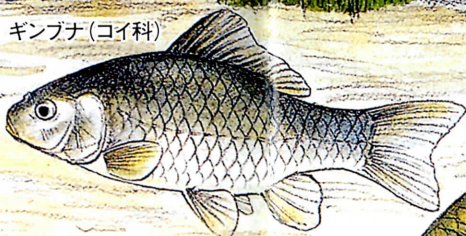
チラカゲロウ

シマトビゲラ

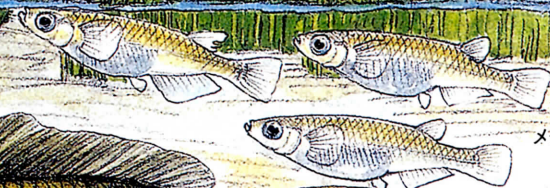
オオヤマカワゲラ

●中流で多く見られる魚と底生動物

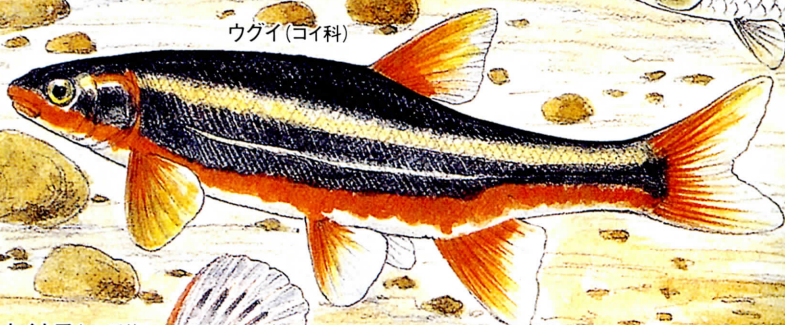
ギンブナ(コイ科)



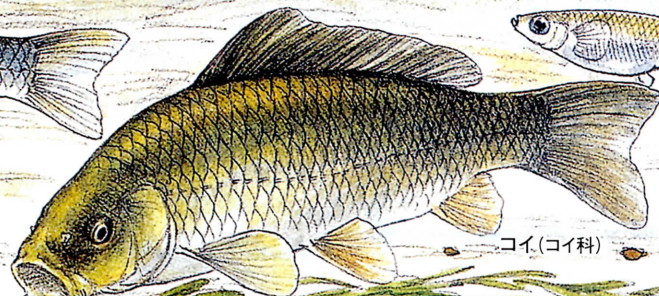
メダカ(メダカ科)



ウグイ(コイ科)



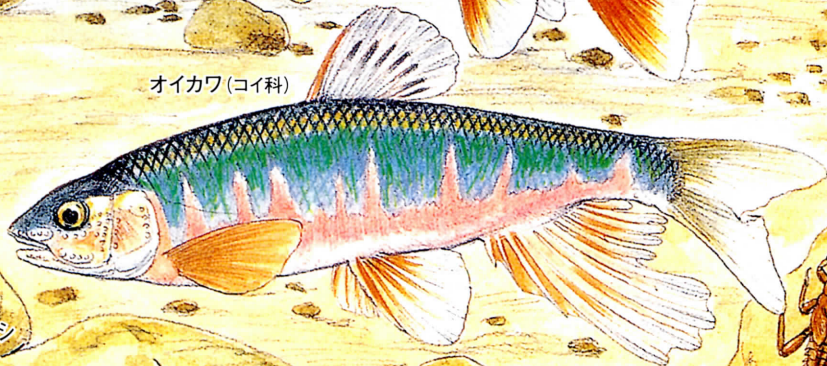
コイ(コイ科)



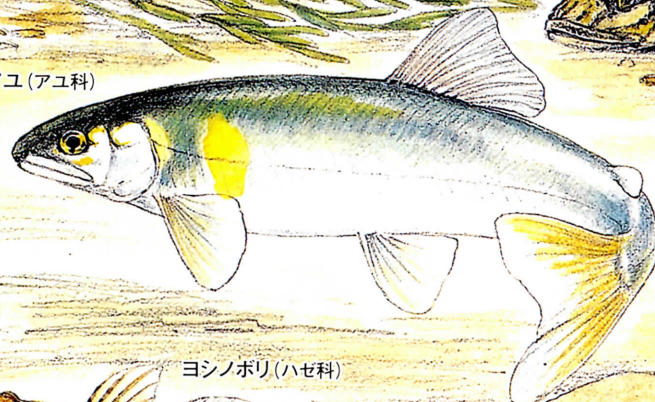
ウキゴリ(ハゼ科)



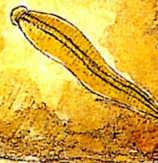
オイカワ(コイ科)



アユ(アユ科)



シマイシビル



ヒラタドロムシ



シロタニカワカゲロウ



オオクママダラカゲロウ



フタツメカワゲラ



ヨシノボリ(ハゼ科)



ミズムシ



1 卵



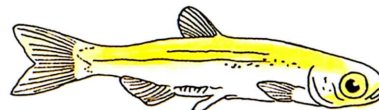
2 ふ化直後



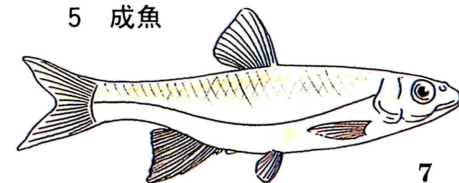
3 後期の仔魚



4 稚魚



5 成魚



●下流で多く見られる魚と底生動物

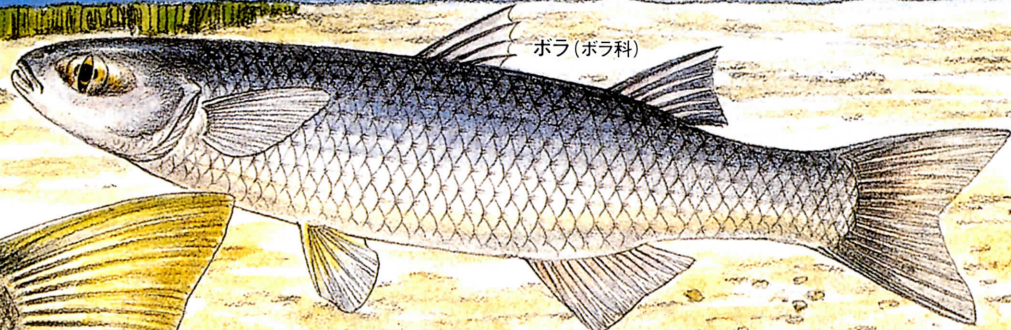
タモロコ(コイ科)



サカマキガイ



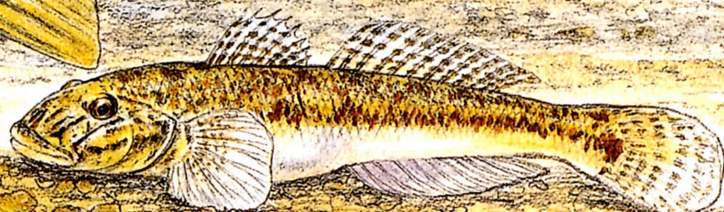
ボラ(ボラ科)



スズキ(スズキ科)



マハゼ(ハゼ科)



イトミズ



チチブ(ハゼ科)



モンゴ(コイ科)



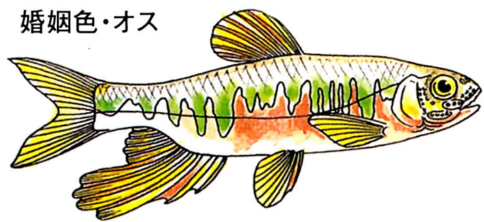
ドジョウ(ドジョウ科)



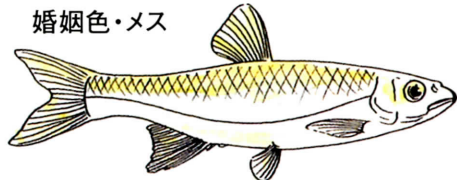
赤色ユスリカ



6 婚姻色・オス



婚姻色・メス



8

7 産卵

